

東京医薬看護専門学校 3つのポリシー

(実学教育、人間教育、国際教育)

ディプロマポリシー (卒業までに身に付けるべき資質)

建学の理念に基づき専門職業人として必要となる知識・技術・態度、考え方をもち、社会に貢献できる人材を養成します。

1. 職種に応じ必要とされる知識・技術、国家資格等を取得する。
2. 産業界との連携により職業人・業界人・医療人としての人間力を、また社会人としての身構え、気構え、心構えを身に付けている。
3. チームで働くうえで必要となるコミュニケーション能力を有し、チーム、他職種で連携・協働して遂行できる能力を有している。
4. 各職種の専門職業人としてのニーズに柔軟に対応でき、社会・地域に貢献できる能力を有している。
5. 自ら学ぶ姿勢と自己の課題を発見し解決する力（能動的に取り組む力）を身に付けている。
6. 学内における様々な教育プログラムを通じて社会人基礎力が培われている。
7. 他者や異文化に対する理解を深め、自らの見解と高い視野を備えた国際感覚を身に付けている。

カリキュラムポリシー (教育課程の編成、実施方針)

専門職業教育とキャリア教育を体系的に一体化した職業人教育カリキュラムと国際感覚を身に付ける国際教育カリキュラムを提供します。

また、科目群は基礎科目群、専門基礎分野科目群、専門分野科目群に大きく分類し、それぞれの科目内容の持つ教育的な性格、位置づけを明確にします。

1. 産学連携による実習を重視したカリキュラムやインターンシップ等を提供する。
2. 基礎学力の向上を図るプログラムを提供する。
3. 入学者ひとり一人の人的成長とキャリア設計を支援する。
4. グローバル化の中、国際人としての基礎プログラムを提供する。
5. 「基礎科目群」は自分の適性を把握し、「目的意識」を持って学習に取り組む姿勢の修得、学習へのモチベーションを向上する科目群として編成する。
「基礎専門科目群」はプロに必要な態度、思考、倫理とそれらの基本となる知識を身に付け、職業人、専門職として疑問や課題について考えを深めていく科目群とする。
「専門分野科目群」はその仕事に必要な専門的な知識・技術・資格及びそれを現場で応用し役立てる力を育てるプログラム群となる。また実際の現場での実習体験を通して技術、知識の向上を図る。
6. 成績評価は、科目の特性に応じて適切かつ多様な評価方法と基準を設ける。

アドミッションポリシー（求める人物像）

本校で学ぶことを強く望み、資格取得や専門就職に向けて強い意欲を持って取り組むことのできる以下の人材を受け入れます。

1. 専門職業人を目指す者として使命と責任を自覚し、自然、生命、人間に対して敬愛の念をもち、人間尊重の精神と豊かな人間性をもつ人材。
2. 必要な専門的知識と技術・態度を修得し、社会の変化に応じ自己研鑽・生涯学習に努め、社会に貢献することを目指す人材。